

① 出典:伊勢武史『2050年の地球を予測する—科学でわかる環境の未来』

問一 ここでいう「平等」には二つの考え方が述べられています。一つ目は2行目から始まる先進国と発展途上国のような地域的な問題です。二つ目は11行目から始まる世代間の平等という考えもあります。この二つを指摘します。

問二 NIMBYについては22行目から説明が始まります。生活上欠かせないものであっても自分の家の近くにあってはほしくないと思う考えです。この意味の選択肢はイです。アはNIMBYの問題に触れられていません。ウは「感情」の問題にしているところが「倫理上の問題」から外れています。エはこの部分の話題ではなく、アと同様にNIMBYについて言及されていません。

問三 設問の指示にしたがい「人権」という語を用いて説明します。ここでは人間と同様に自然にも権利があると述べている部分です。人間は人権を持つが、自然にも権利があると述べた上で、それらの共存が必要とまとめます。

問四 自然と人間にとっての損得をプラスとマイナスで説明している部分です。直前では自然にはプラスでも人間にはマイナスという例が挙げられ、64行目から始まる段落ではイソギンチャクとクマノミのようにお互いにメリットのある例を述べようとしています。そこでここで述べたいのは「プラス」と「プラス」の関係と言えます。

問五 「悲観的楽観主義」とは環境問題に対してお金儲けをすることに対して批判せず、お金儲けを自然保護の活動に貢献させようとする考え方です。環境保全のためにお金儲けを否定せずにその方法を生かせばいいと述べているのです。

問六 Aは前の内容を言い換えてまとめる用法の「つまり」が、Bは前後で逆のことをのべていますので「しかし」、Cは前で述べていることを根拠にして、結果が述べられているところなので「だから」、Dは話題の転換なので「さて」がふさわしいです。

問七 漢字の問題です。楷書で丁寧に書きましょう。

問八 本文の内容に合うものを選びます。アは「すべての人が等しい幸福を得られるように社会制度や政治のしくみを変えていかななくてはならない」の部分は本文には述べられていません。イは「悲観的になりすぎてはいけない」といった記述はありませんし、人間の人権のみが触れられ、自然の権利について述べられていません。ウは負担するのが一部ではなく「すべての人が責任を果たす

ことで利益を生むビジネス化がうまれ」という記述は本文にはありません。エは 68 行目以降で述べられている環境問題とビジネスの関係について述べられている部分です。これが正解です。

② 出典:佐藤いつ子『ソノリティ はじまりのうた』

問一 「今度は反射的に首を引っ込めて、壁に身を隠した。」時の涼万の心情を説明する問題です。31 行目「音心がバツが悪そうに首をすくめながら出てきた。」ことに驚いて(33 行目「涼万の心臓がまたしてもぼっこんと動いた。」、とっさに身を隠したことがわかります。「今度は」とあるので、その前に驚いた部分を探すと、24 行目「涼万の心臓がぼっこんと動いた。」26 行目「……気づかれた。」とあるように、歌を聴いていたことを早紀に気づかれて驚いた(①)ことがわかります。ただでさえ驚いているところに、音心が現れてさらに驚いた(②)場面ですので、①、②の2点をまとめます。

問二 「涼万の眉間がしぼられた。」理由を説明する問題です。眉をひそめた理由は、66 行目から 68 行目にかけての音心の発言を聞いて不愉快になったからです。

- ① 音心が、クラスメイトには音楽がわからないと言ったこと
 - ② 早紀がそのようなクラスメイトのために指揮の練習をするのは無駄だと言ったこと
- 以上の2点をまとめます。

問三 内臓に関することばの意味を答える問題です。一はオ、二はエ、三はア、四はウ、五はイです。

問四 「笑い声は涼万の耳をつっかえながら通っていった。」とある、涼万の心情を説明する問題です。晴美の笑い声が耳につっかえるのは、涼万が密かに思いを寄せる早紀を批判されて不愉快になったからであり、これを結論部とします。次に批判内容として、143 行目から 144 行目にかけての晴美の発言から、

- ① 早紀がもっとリーダーシップを発揮すべき
 - ② しかし、早紀にはそれができない
- という2点をまとめます。

問五 「いい子いい子。」は音心の発言を、涼万が後になって思い出しているもので、実際に言葉を発したのは 86 行目です。87 行目に「それはまるで、頭をなでながら言っているようなそんな間合いで、またしても勝手に映像が浮かんでしまった。」とあることから、音心と早紀の親密な情景を想像して、胸騒ぎを覚えていることがわかります。したがって正解はウです。アは「自分の方が早紀を理解していると思ひ」の根拠がありません。イは「音心が早紀を見下し」という部分が誤り。エは「早紀の偽善的なところを見抜いて」という部分が誤りです。

問六 「壁を挟んで、涼万もまったく音心の言う通りだとひとりうなずいた。」をふさわしい位置に戻す問題です。涼万が、音心の発言に同意しているので、54 行目「それにしても合唱コン、早紀は歌わないと本当にもったいないな。指揮者じゃね」の後に戻します。正解はオです。

問七 修飾する語を選ぶ問題です。Aはア、Bはエ、Cはカ、Dはクです。

問八 音心が、早紀が歌わないことをもったいないと思っているのはその通りですが、指揮者をあきらめさせようとしている根拠がないため、アは誤りです。早紀が、音心がクラスで孤立しないか心配している根拠がないため、イは誤りです。涼万が、晴美に恋心を抱き始めたとまではいえないので、ウは誤りです。エは前半部分が 136 行目「だってさ、わたし負けたくないんだよ。他の組、結構マジで練習してるらしい」と合致します。後半部分は、127 行目「岳のやつ、涼万と俺は部活の朝練に行くからって、言い張ってたんだけど、ねっ、そうなの?」、132 行目「涼万、お願い。合唱コンの練習に来てよ」、140 行目「うちのクラス、井川もめっちゃ伴奏うまいしさ。今からでも頑張れば、結構いけるんじゃないかって思うんだよね」と合致します。したがってエが正解です。